

「さわやか西中 誰からも愛され、応援される生徒を目指して」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年3月11日(金)発行 第 45 号

卒業おめでとうございます

第69回卒業証書授与式

生徒たちが、また新たなステージに進みます。

頑張れ！ 西山中ブランド！！

Life must improve as it takes its course.

Your youth you spend in preparation because the best things are never in the past, but in the future.

人生は進歩です

若い時代は準備のときであり、最上のは過去にあるのではなく将来にあります

3月11日(金)第69回目となる卒業証書授与式を行い、卒業生8名に卒業証書を授与しました。純真でひたむきな姿勢で、本当に立派に成長してくれた生徒たちでした。

保護者の皆様、多感なお子様のそばで、この3年間にご苦勞も少なくなかったと思います。しかし、心身ともに大きく成長され、晴れて卒業を迎えられること、心よりお祝い申し上げます。

アメリカでは「卒業式」のことを「COMMENCEMENT」という言葉で祝うそうです。この言葉の本来の意味は「出発」という意味です。それは「卒業式」が人生のスタートの時という意味で用いられているからだそうです。

69回生の晴れやかな門出に際し、輝かしい未来と無限の可能性を信じています！ご卒業おめでとうございます！！

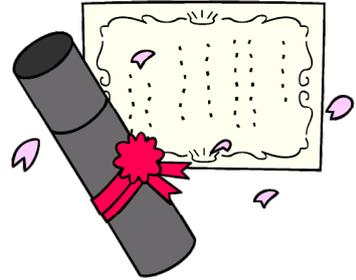


平成27年度 卒業証書授与式 式辞

平成28年3月11日（金）

西山中学校から旅立ちの日を迎えた八名の皆さん、卒業おめでとう。いよいよ学舎を旅立つ日が来ました。皆さんにこうして向かい合うと、この三年の年月の流れが、皆さんをたくましく鍛え、かくのごとく育てたことをつくづく感じます。

自信を持って送り出すことができる最高の姿で卒業してくれる皆さんを目の前に、今はお祝いと共に、感謝の言葉を贈ります。皆さんは、私たち教師に、教育の楽しさとすばらしさを教えてくれた存在だったからです。



皆さんには、他校の生徒にないきらりと光る比類のない宝物がありました。それは言われたことを素直に受け取り、裏表なく全力を尽くそうとする「ひたむきさ」です。

「走れ！」といわれれば、倒れるまで走り込み、「勉強が大切」といわれれば、真剣な顔でそれを実行しようとする…。君たちの純粋な心は大変新鮮であり、まぶしくもあり、教師としてのやりがいと責任の重大さを感じさせてくれるものでありました。

入学時 頼りなささえ感じた君たちは、バドミントン大会での優勝やさまざまなコンクールでの入賞など、八人の学年とは思えないような活躍と存在感を示してくれました。

マスコミへの露出度が異様に高かったのも君たちです。自分のふるさとのことを真剣に考え、全力で取り組んだ結果に他なりません。君たちの持つチャレンジ精神とひたむきな姿は、多くの大人を動かし、支援の輪が広がりました。まさに「誰からも愛され、応援される生徒」そのものだったと思います。そんな君たちは、私たち西山中学校の教職員にとって、大きな誇りでした。そして、君たちのお父さん、お母さんにとっても君たちは大きな誇りであったことでしょう。

焚き火をみんなが囲むのは、その焚き火が勢いよく燃えているから。

燃えない焚き火は誰も囲まない。

君たちの周りには、いつも支援する人が集まり、楽しさと元気さがあふれていました。それは、君たちがひたむきな姿で、焚き火のように燃え、周りを幸せな気分にしてくれる存在だったからです。これからの人生でも、燃える心で、ひたむきな人生を歩んでいって欲しいと心から願っています。

明日から皆さんを待ち受ける世界は大変厳しく混沌としたものかも知れません。しかし、十年後、二十年後、君たちは役割こそ違え、全員が間違いなく社会を支える人間になっています。その時、自分のやっていることに誇りを持てる人間になって欲しいと思います。その資格も能力も、この三年間の中学校での活躍で十分培えたとは私は信じています。

今日は昨日の結果であり、明日の原因です。西山中学校の卒業生らしく背筋を伸ばして、さらに高みを目指して歩み続ける人生であって欲しいと思います。

ご来場の皆さん、この八名の姿をしっかりとご覧ください。我々西山中学校が自信を持って送り出す卒業生です。どうか、これからもこの八名の活躍に注目し、応援し続けていただければと思います。

八名の卒業生の皆さん。卒業、本当におめでとう。そしてありがとう。

皆さんの前途を祝福し、式辞といたします。